

船舶インシデント調査報告書

令和3年2月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和2年3月1日 15時30分ごろ
発生場所	山形県酒田市酒田港北西方沖 酒田灯台から真方位335° 3.6海里付近 （概位 北緯39° 00.0′ 東経139° 47.0′）
インシデントの概要	貨物船 ^{ふくほう} 福宝丸は、航行中、主機が停止し、燃料供給ができずに運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年5月15日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 福宝丸、499トン 141223、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、初高汽船株式会社 ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力1,471kW、回転数毎分290、6気筒、ボア340mm、使用燃料油A重油
乗組員等に関する情報	船長、三級（航海） 機関長、四級（機関）（機関限定）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1m
インシデントの経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか3人が乗り組み、関門港戸畑区に向けて酒田港北西方沖を南西進中、主機入口の燃料油圧力が低下して主機が停止した。</p> <p>本船は、2020年1月から燃料油に含まれる硫黄分濃度の規制強化に対応する目的で、保有していたC重油を順次使い切り、掃除をしていない各C重油タンクにA重油を補給し、その後主機をA重油運転に切り替えていた。</p> <p>本船は、タンク底部に残っていたC重油と補給されたA重油との混合安定性が悪く、燃料油中にスラッジが発生していた。</p> <p>機関長は、燃料油中にスラッジが発生していることを認め、各当直者に燃料精密フィルター等の掃除を励行するように指示していた。</p> <p>本船は、燃料精密フィルター等が閉塞し、主機入口の燃料圧力が適正な範囲に維持できなくなり、主機が停止した。</p> <p>機関長は、船内での修理が不可能と判断し、船長にその旨を報告した。</p> <p>本船は、船長が、海上保安庁に救助を要請し、来援した巡視船によ</p>

	り新潟県新潟港西区にえい航された。
分析	本船は、C重油タンクの掃除を行っていない状態でA重油を補給して南西進中、燃料油精密フィルターがスラッジで閉塞したことから、主機に燃料が供給できなくなって主機が停止し、運航不能となったものと推定される。
原因	本インシデントは、本船が、C重油タンクの掃除を行っていない状態でA重油を補給して南西進中、燃料油精密フィルターがスラッジで閉塞したため、主機に燃料が供給できなくなって主機が停止したことにより発生したものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・異種燃料を搭載する場合、事前にタンク内の掃除を行うこと。